

発行—2018年9月1日

<http://gdtk.lib.gunma-u.ac.jp>

編集—群馬県大学図書館協議会「会報」編集委員会 前橋市荒牧町4-2(群馬大学総合情報メディアセンター内) TEL.027-220-7180



放送大学 群馬学習センター



放送大学キャラクター
まなびー



CONTENTS

| | |
|---------------------------|---|
| ■ 研究会報告 平成29年度第2回大学図書館研究会 | 2 |
| ■ トピックス | 3 |
| ■ 編集後記 | 5 |

研究会報告

大学図書館研究会・群馬県図書館協会専門研修 (群馬県大学図書館協議会・群馬県図書館協会 共催)

○平成29年度第2回

テーマ：「図書館が地域にできること」

日 時：平成30年3月6日(火) 14時00分～16時00分

場 所：群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館 セミナー室

参加者：84名(大学図書館23名、公立図書館22名、高校図書館2名、一般37名)

講 演：「あたらしい地方を編集し、ソーシャルに発信する」

雑誌『ソトコト』編集長 指出 一正 氏

【概要】

雑誌『ソトコト』の編集長で、全国各地で地方の活性化に貢献されている指出一正氏を講師に迎え、ご自身の活動をご紹介していただいたほか、雑誌編集長として、ソーシャルな情報発信についてお話いただきました。これからの時代は、単なる人口増を目指すのではなく、「関係人口」を必要とすること、地域のいくつかの点を結ぶことで実現する「エリアリノベーション」、今の若者を惹きつけるソーシャルな情報発信の方法など、非常に興味深い内容の講演でした。

群馬県高崎市出身である指出氏からは、群馬県の図書館員へのメッセージもいただきました。また、今回の研究会は、一般公開とし、一般市民の参加も多数ありました。



会場:群馬大学



指出一正氏



講演の様子

【参加者の意見等】

- ・ 地方創生のために実例を交えて話をしてもらいとてもわかりやすかった。
- ・ 小さいこと、目の前にあるもの、そこをもっと見つめて行きたいと感じました。まず私が自分ごととして考えていけるように意識する機会となりました。
- ・ 「マイパブリック」大学図書館という特殊な環境ですが、地域に対して、学生に対して、そういう場所を提供できるよう頑張っていければと思います。
- ・ ずっと聞きたかった指出さんの話を聞いてよかったです。たくさんの「気づき」がありました。ありがとうございました。

等の意見が寄せられ、有意義な研修となりました。

トピックス

共愛学園前橋国際大学図書館

図書館ボランティアの活動について

「図書館を元気にしたい」という思いで発足した本学図書館ボランティアの学生達の活動は今年で6年目になります。

その図書館ボランティア主宰の「リレー小説」というイベントが2018年7月11日、開催されました。リレー小説とは、複数人で即興の文章を繋げて小説を作るというもので、最近ではネット上で多く見られます。各々考え方が異なるなかで、どのように物語をつなげていくかというアドリブ性が求められるものです。

今回は、始めの一文だけを設定し、ボランティアメンバー及び参加者の6人で小説を紡いでいきました。時にミステリー、時に怪奇小説、時にアクション小説…と様々な形を変えながら、かなりのボリュームの作品が出来上がりました。この小説は図書館内に掲示し、利用者の皆さんに見てもらっています。

今年度の図書館ボランティアは、自分達が所属するゼミに関連する図書の展示や店頭選書、ビブリオバトル、図書館だよりの発行など様々な活動を計画・実施しています。イベントの実施は大変なことが多いですが、学生達がこの活動を通して色々なものを身に付けてくれたら、と願っております。



リレー小説に取り組むボランティア

トピックス

群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館

アゴラカフェ/ひとつばなし17「洪水の経験～語り継ぎたいカスリーン台風～」を開催しました

2018年7月10日(火)に、足利市の徳蔵寺住職 源田晃澄氏を講師に迎え、「洪水の経験～語り継ぎたいカスリーン台風～」をテーマにお話をいただきました。

1947年に発生したカスリーン台風は、関東に大きな被害を与え、多数の死者を出しました。特に被害の大きかった足利市で、4才の時に被災された源田氏は、市内の死者名簿作成や慰霊碑の建立など、カスリーン台風の被害を語り継ぐ活動をされてこられました。当時の映像を見た後、源田氏が実際に経験された台風の被害とその後の様子に、参加者は言葉もなく聴き入っていました。源田氏の「最も大切なものは命です」という言葉が心に響きました。

アゴラカフェ/ひとつばなしは、ラーニングコモンズ「アゴラ」でカフェに居るような寛いだ気分で話を聴いていただくという企画で、学内外の様々な分野の講師をお迎えしています。今回は、42名の参加がありました。



講演の様子

トピックス

東洋大学板倉図書館

卒業生による講演会「管理栄養士になる!!」の開催について

学生の成長を促進する仕組み作りのひとつとして、「管理栄養士になる!!」を実施しました。講演者全員は、本学健康栄養学科卒業生の現役管理栄養士です。在学中における国家試験対策や卒業後現場での業務により得た知識や情報に基づき、管理栄養士になるための講演を行いました。

講演内容は、①自己紹介②会社概要等③試験対策の3点を中心に、現役学生の立場から理解できるよう、具体的な事例を紹介しながら説明を行いました。

管理栄養士を目指す現役学生たちに多数参加いただき、質疑応答では予定時間を超過する程盛況となり、約1時間の講演が終了しました。

日 時:2018年7月25日(水)16:00~17:00
場 所:板倉図書館1F「アクティブ・ラーニング・エリア」
参加者:33名(含む教職員関係者)
講演者:東洋大学卒業生4名



講演の様子



講演者

トピックス

育英大学・育英短期大学図書館

絵画が寄贈されました

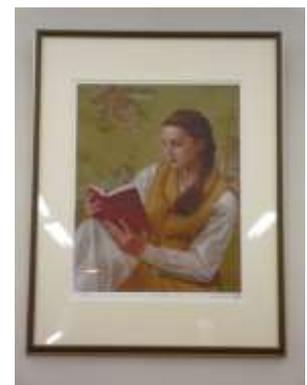
2017年7月に、本学元教授で画家の山名将夫氏（2018年3月退職）から、版画と素描14点が寄贈されました。今回寄贈された絵は、すでに飾られていた同氏作の油絵1点とともに、図書館内に展示されています。華やかで落ち着いた感じのある、素敵な絵ばかりです。ご来館の際は、ぜひご鑑賞ください。



館内



「紅白つつじ」



「エンジェル」

トピックス

群馬大学総合情報メディアセンター—理工学図書館

桐生楽講座—あなたの知らない(かもしれない)桐生— 「桐生祇園祭と八木節まつり～群大から桐生の成り立ちを見る～」を開催しました

2018年7月10日(火)に、桐生楽(きりゅうがく)講座を開催しました。本講座は、桐生を学びの場とする学生たちに桐生の文化や伝統、ユニークな企業などを知ってもらうために平成26年度から年3~4回開講しています。第15回目となる今回は、桐生祇園祭保存会理事の奈良彰一さん(書肆画廊奈良書店)を講師にお迎えし、「桐生祇園祭と八木節まつり～群大から桐生の成り立ちを見る～」をテーマにご講演いただきました。

桐生祇園祭は、毎年8月初めに行われる、360年以上の歴史と伝統を持つお祭です。講演では、桐生の町の成り立ちから寺社の分祀、町の経済力を背景に京や江戸文化の影響を受けながら発展してきた桐生祇園祭の魅力について語られました。ただ近年は、この祭りを支える若者が減っているとのこと。奈良さんは「祭りの伝統を受け継ぎ再興していくためには、学生さんたちの力が必要。ぜひ一度祭りを見に来てほしい。」と参加を呼び掛けました。

今回は学外の方も含め42名の参加者があり、「ぜひ祭りに参加してみたくなった。」「祭りの歴史的な意味、土地とのつながりを知って興味深かった。」などの感想が寄せられました。今年は桐生祇園祭をより一層お楽しみいただけたのではないのでしょうか。



講師の奈良彰一さん

トピックス

高崎経済大学図書館

「交換留学生と英語で交流しよう！」を実施しました

2018年4月より交換留学生と英語で交流する場を図書館1階のラウンジに開設しました。予約や登録なども不要で、開催時間中はいつでも自由に入出りでき、初級者から上級者まで気軽に英会話を楽しむことができます。英語でのフリートークや様々なテーマに沿ったディスカッションをとおして、英語によるコミュニケーションの強化を図るとともに、相互に異文化理解を培うことを目指して取り組みました。

開催日時 2018年4月25日(水)~7月12日(木)
毎週水・木曜
水曜: 14:20~15:20
木曜: 12:40~13:40
場所 高崎経済大学図書館1階ラウンジ



交流の様子

編集後記

今年度より編集委員に加わりました。編集会議に参加して、県内の図書館の状況を知ることができる貴重な機会をいただいたな、と感じました。これから色々学びながら成長していきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。
(共愛学園前橋国際大学図書館 深澤静子)